

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第6・7地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
1	菟部町2丁目	<p>【用水堀・側溝の清掃等について】 東郷堀につながる長寿園の北側及び南駐車場の南側用水堀は、以前は田んぼに水を流していましたが、現在は全く使われておりません。周囲は住宅街で、水の流れが悪く、雨水や汚泥がたまり、蚊が多く発生し、伝染病の発生源にもなりかねません。地域住民による清掃も行っていますが、一時的で解決にはなりません。汚泥をバキュームカーで吸い取り、雨水の流れを作るなど用水堀の構造を見直してほしい。または、全体をコンクリートで固めることは可能でしょうか。 また、公道にある下水の排水溝の上にあるグレーチングの中は雑草が伸びていたり、汚泥が溜まり、水はけが悪くなり、大雨の時は周辺の道路の冠水がひどくなります。個人でグレーチングを開けて雑草を除去することも難しいので、是非対策を講じてほしい。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の水路及び横断側溝につきましては、現地を確認いたしましたところ、大部分が汚泥の溜りや、雑草等で酷い状況でありました。 つきましては、職員及び業者対応により、水路及び横断側溝等の清掃を実施してまいります。 また、かつての用水堀をコンクリートで固めるとのことにつきましては、降雨時には排水路として、十分に役立っていることから、このままの使用を考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>【道路河川維持課】進捗・対応状況:対応済 平成28年7月に水路清掃を実施いたしました。</p>
2	平井町	<p>【市道の道路補修工事について】 平井町居住者は、少子高齢化を反映し高齢者が年々増加する傾向にあり、福祉上の観点から生活道路としての市道整備がますます重要となっている。 具体的には、歩行補助器具を使用するが、市道の簡易補修が数年にわたるため、補修材の上乗せによるデコボコで転倒しそうになったり、押し車使用の場合、歩行困難となり途中で目的地を断念したりと生活上の支障を招いている現状にある。 また、二次的には道路劣化による車両騒音のため、乳幼児世帯及び昼間時就寝住民などから苦情が出ている実情にある。 よって道路劣化箇所を調査した結果、平井町内において特に「道路補修工事」が必要と認められる三箇所について速やかに市道の整備をお願いしたく市当局の方針を開示願いたい。</p>	<p>【道路河川維持課】 ご要望の県道太平山公園線より北側の2箇所につきましては、今年度及び来年度で下水道工事が予定されておりまして、下水道の工事に併せ、現在の簡易舗装を本舗装にしていまいりますので、今少しお待ち頂きたいと思えます。 また、県道太平山公園線より南側の箇所につきましては、道路及び隣接地の状況を確認いたしましたが、一部が農地への出入りに使われている道路であり、その先につきましては、使用頻度の少ない道路の様に見受けられますので、今後、道路周辺の状況の変化を見ながら対応してまいりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>
3	平井町	<p>【栃木市斎場移転後の跡地利用などについて】 平井町に所在する斎場は、岩舟への移転が決定され、市当局は移転及び建設準備作業を行っているところと考えるが、以下の事項について市当局の方針を開示願いたい。 1 跡地利用について 具体的な案及び構想はあるのか。 2 移転に伴う平井町の活性化策について 平井町の斎場建設は、 ①用地取得交渉段階における住民間の意見相違に伴う種々のトラブル ②その後のコミュニティー崩壊に伴う回復段階 ③斎場掲示板の設置 を経て、平井町住民の認知がなされたところである。 よって、平井町住民は市の福祉行政に永年にわたり協力し、その功績は大なるものがあると考え、当町の活性化策について市当局の方針を示していただきたい。</p>	<p>【斎場整備室】 斎場再整備事業につきましては、現在、岩舟地域の南部清掃工場跡への新斎場建設に向け、測量等の事務を実施している状況です。 平井町の皆さまにおかれましては、昭和29年に現在地に斎場を建設してから長きに渡りご協力いただき、厚くお礼申し上げます。 現斎場があります平井町は、太平山を始め、自然や旧跡、学校(國學院)等、重要な地域資源を豊富に抱えた地域であり、総合計画で自然環境保全ゾーンと位置づけております。また、住宅地部分につきましては、都市的利用ゾーンと位置づけ、快適な居住環境の形成を図るため、現在、公共下水道敷設や市道02065号線の拡幅等、平井町の利便性向上に努めているところです。 新斎場は、平成33年度末頃の供用開始を目標としておりますので、跡地利用につきましても、その頃を目安に検討していく予定であり、総合計画を基本として自然や歴史豊かな平井町の地域特性に配慮するとともに、平井町の皆さまのご意見をお聞きしながら、最も良い活用方法を検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】 ※8月17日に平井町自治会説明会を開催し、同趣旨についての説明を行いました。(斎場整備室)</p>

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第6・7地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
4	参加者	メディカルセンター病院のことだが、場所を人に伝えることが難しい。分かりづらい所にある。早く環状線をつくってほしい。もしくは案内板でわかりやすく示してほしい。	5月に開院しましたが、市道等に看板を設置したところ。見づらい等のご指摘も頂いています。改善していきたい。	【健康増進課・都市計画課】進捗・対応状況:対応済 「とちぎメディカルセンター」担当課と公共サインの担当課が連携を図りながら、12月議会にて補正予算を組み、市民から要望があり必要性の高い4箇所に、新たな案内板を設置いたしました。(工期:1月30日～3月10日)
5	参加者	メディカルセンターの件で、駐車料金が不明瞭だった。改善になったという話は聞いているが、もう一度ご説明いただきたい。 また、下都賀病院の跡地はどうなっているのか。分かる範囲で教えていただきたい。	駐車場については、診察される方とそうでない方で料金に差がありました。それがなくなり、診察券を提示せずに5時間まで100円となりました。5時間を超えた場合、1時間ごとに100円加算されます。 跡地利用につきましては、とちぎメディカルセンターの土地です。建物があるため、その処理をどうするかが課題となっております。解体費用もかかると考えられます。今後市で対応できる場所は対応していきたいと考えております。	【市街地整備課・子育て支援課】進捗・対応状況:対応済 下都賀総合病院の跡地は、富士見町地内の本院と祝町地内の分院及び外来者駐車場であります。 富士見町地内の本院跡地利用については、とちぎメディカルセンターが本年2月下旬から3月上旬の期間で公募による土地売却の入札を実施し、本年12月頃に土地購入者に引き渡される予定です。このため、現在、とちぎメディカルセンターにおいて病棟などを解体しているところであり、解体後の土地利用につきましては、今後、具体的な内容が明確になると思っています。 一方の、祝町地内の分院及び外来者駐車場の跡地利用については、本年3月に市が土地・建物を取得しまして、まちなかのにぎわい創出、及び子育て世代の支援を拡充するため、「子どもの遊び場」として、平成31年度中の開設を目標に整備を進めてまいります。
6	参加者	防災ラジオを自治会長として1台受け取ったが、災害時、ひざ上まで水がきてしまった。実際の防災時に自身を守ることに精いっぱい、周りの方々への伝達は難しいという疑問を生じた。FMラジオをお持ちの方は、いざというときに自分でラジオを聴いてもらうため、チラシをつくって、家の中に貼ってもらうようにしている。危ない時にはラジオを聴いてください、というお知らせが必要なのかな、と感じた。わが町内でやったというご報告としてお伝えしておく。	貴重なご意見ありがとうございます。また、ラジオの啓発についてもご協力いただき、感謝をいたします。配付させていただいているラジオは、自分のことはとにかく、というわけではなく、使い方は自由です。場合によったらそれどころではないと思います。いざという時はこういうものを聴くというお知らせしていただけることはありがたいことです。各戸に配付することを考えさせていただければと思います。	【危機管理課】進捗・対応状況:対応予定 市では、台風や大雨、地震などの災害時には、コミュニティFM放送を活用して、避難勧告などの緊急情報を配信していることを広報紙等で市民に周知しておりますが、今後におきましてもより活用いただけるよう、各家庭内の目につくところに貼っておけるようなチラシの配布や、防災ハザードマップにわかりやすく記載して配付するなどの工夫をして周知を図っていきます。
7	参加者	8月末にバキュームカーが来て、汚泥を業者が清掃してくれた。下水道が整備されておらず、生活排水を堀に流していることを懸念している。グレーチングの中の雑草を抜くことが難しい。交通量が多く、作業をすることが難しいとのことだが、自分たちでグレーチングをあげる事が難しい。大雨時には下水の排水がよくない。持ち上げて泥などをとらないと流れない。持ち上げることも難しく、よい知恵があれば。	生活排水については下水道への接続につきまして、お願いするにように訪問しております。グレーチングがあって、なかなか除草ができない、ということですが、今後実施してまいります。	【道路河川維持課】進捗・対応状況:対応済 平成28年11月に横断側溝の清掃を実施いたしました。
8	参加者	今回の台風も水があふれて心配で土嚢を積んだ。 2点あり、ひとつは巴波川について、水害について上流から大量の土砂が流れている。1年経っても浚渫工事が終わっていない。実際どのような状況になっているのでしょうか。今回の雨でも、雨のたびに住民が不安がっている。多少不安を解消するためには、今の状況をお聞きしたい。 家の近所の事だが、水害の際に出た近所に置かれたブロック等が置かれてしまい、そのまま残っている。	7月の末に業者が決まり、8月のお盆を挟んで現場に入り、工事が始まっております。今回の台風がいった際に、工事を進める。もう少し時間をいただきたいと思っております。 道路上のブロックが置かれている件につきまして、詳しい経緯がわかりませんので、現場を確認させていただき、対応を考えたい。	【道路河川維持課・環境課】進捗・対応状況:対応済 巴波川の河床整正等の工事につきましては、栃木土木事務所から平成29年2月上旬までに完了した旨報告をいただいております。 道路上のブロック等につきましては、9月9日に現地を確認し、ブロックや石などの災害ごみがありましたので回収させていただきました。
9	参加者	永野川緑地公園について要望です。滝沢ハム側に仮設トイレがあったが、なくなってしまった。寄附を受け、4施設が増設された。かなりの方が利用されている。水道も岩出の方に「4か所ある。滝沢側には一箇所もない。けっこうウォーキングする人たちがいる。これから高齢化となってくるので、トイレや水道等設備投資してはどうですか？	トイレについては河川区域の中に仮設トイレがあったのだと思うが、過去の推移を調査して、水道、トイレが設置できるかどうかも含め検討しますので、少し時間をください。	【公園緑地課】進捗・対応状況:対応予定 当時仮設トイレがあった場所は河川区域内であり、工作物を設置できない場所でありましたので、県の指導に基づきトイレを撤去いたしました。現在、河川区域に隣接した河川保全区域内にトイレや水道等の設備を新設するため、関係機関と調整中でございます。 また、途中経過については質問者様にも説明いたしました。

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第6・7地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
10	参加者	栃木工業高校の野球場の近くのトイレをご存知でしょうか？あちらのトイレの夜間の電気を切ってしまっている。2年前に確認しましたら、防犯上の関係ということだったが、今は感應式がある。公園の中の方には感應式がある。野球部が一生懸命練習しているが、暗い。検討してください。熱中症対策にもなると思う。運動するのにも必要。	現在は簡単に感應式にできるので、現場の方を確認して検討したい。	【公園緑地課】進捗・対応状況:対応済 照明のタイマーを調整し、夜8時まで点灯するように対応しました。
11	参加者	ゴミの問題です。富士見町のうずま川沿いのところには朝方から観光客の方が訪れているが、朝方出したゴミがお昼過ぎ頃まで回収されずに置いてあることが多い。それを観光客の方が避けながら歩いている。パリの街では、できるだけ夜のうちにだして、早朝に回収している工夫をしているという。おもてなしの心はそういうところに出ると思う。観光市として発展してく市としては、大勢の方が見られる場所のゴミだけは早めに片づけるように施策をとっていただければ。	ご指摘ごもっともでございます。実はこの4月に収集の見直しを実施して、収集回数や時間等、全体的に組みなおした。収集時間がずれたため、そういったご指摘を何件かいただいている。改善できる場所についてはしているが、引き続き具体的なお話もお聞かせいただければと思います。何かありましたらまたご意見いただければ幸いです。	【環境課】進捗・対応状況:対応済 12月から蔵の街大通りと旧例幣使街道の一部について、観光客が多く訪れる土曜日と祝日は、試験的に朝一番にゴミ(※もやすごみを除く。)を回収するようにしました。 ※もやすごみは朝の早い時間に回収しています。 市としましても、観光客の皆様に気持ちよく観光していただくため、朝早めの回収を実施したいと考えておりますが、本市は市全域に観光資源があり、すべての箇所朝の早い時間帯にごみの収集を実施することは困難であります。しかしながら、観光客が多く訪れる箇所については、今後も回収ルートの見直し等を行い、早めに回収する箇所を増やしていきたいと考えておりますので、ご理解いただければと思います。
12	参加者	救急救命についてうかがいたい。埼玉のある小学生が授業中に倒れたが、人工呼吸やAED等の処置をしなかった。埼玉では研修をはじめたそうだが、栃木市ではそういった講習をやっているのか。救急救命について職場で講習を行う場合の救命士の講習でも、証明書をだしてほしい。近県では何かのときに出すと点数が加算される。規則をつくって、やってほしい。 個人には出ているのかもしれないが、企業に証明が出ていない。周辺自治体では出ている。栃木市でも出るようにしてほしい。	救急救命、AEDの事ですが、救急救命の授業については、小学校と中学校でAEDの講習も含めを授業行っております。5年生に保健の時間でそういった授業を行っております。実際にAEDの器具を使った講習も行って入り、そういった研修をどんどん増やしていきたいと考えております。ただ救急救命士との調整も必要なので、検討させていただきたい。 救急救命士の講習会をかなりの回数をやっていることで聞いております。講習会を受けた方には受講者証を出していると思います。受講者証に点数がつくかどうかは不明ですが、ご質問の証書は出ております。本日、消防所管部長が出席しておりませんので、消防本部にもお伝えし、後日回答いたします。	【警防課】進捗・対応状況:対応済 当消防本部の応急手当普及啓発事業につきましては、総務省消防庁通知の要綱に基づき要綱を定め、全国で統一されたカリキュラムにてAEDを含めた救命講習会を行っており、学校関係では、保育園・幼稚園、小・中学校、高校の教職員や保護者、生徒にも受講いただいております。 また、職場で行う講習会で企業に証明書を発行する件につきましては、9月に県内の消防本部に聞き取り調査を行ったものの、先進事例は確認できませんでした。更に、市内の救急搬送人員の発生場所の多くは住宅であることから、まずは、市民の皆様個人に対しての意識づけが最優先であると考えております。
13	参加者	永野川の改修についてですが、昨年7月、台風の影響だと思いが大雨洪水警報が出た。今年の7月に歩いてみたが、永野川の改修、だいぶされたようだが、爪痕がまだまだ残っている感じだ。前のところを少し補修したような感じがする。国との交渉等あると思うのだが、1か月くらい遅れているな、と感じた。永野川が決壊した場合には甚大なる被害になると思う。昨年から引き渡しまでの経緯をお知らせ願えれば。 場所は、上人橋下の高橋からその下の睦橋の間が不十分だと感じている。	関東東北豪雨によりかなりの被害を受けました。特に赤津川の被害がひどく、昨年度約1km区間が終わり、今年度新たに1kmやる予定です。 永野川につきましても順次進めております。いつ終わるかということも場所によって細かく決まっており、場所場所によって、期間も異なります。こちらで県に確認してご回答させていただきます。	【道路河川維持課】進捗・対応状況:対応済 栃木土木事務所から、河川の工事は濁水期の工事着手であるため現在施工中であり、上人橋から睦橋の間の工事についても、平成29年3月末までには完了予定であるとの回答をいただいております。
14	参加者	浚渫工事はじまりそうだが、ということだが、どこからどこまでを予定しているのか、期間についても、わかれば町内に周知していけるのだが。 また、赤津川が原因となっているとのことだが、あふれさせない対策はやるのか。 それから、工事の地域はどこまでを予定しているのですか？	浚渫については、環状線から町中に向かって県の方で実施することで、確認しています。まもなくはじまる予定です。 浚渫だけではなくところどころ護岸が切れているところもやる予定です。 巴波川の越水対策ですが、県との勉強会をつくって検討しております。短期的には浚渫ということになりますが、長期的には、巴波川の水をどうするか。赤津川というよりは荒川の方からの水をどうするかです。巴波川の上の方に計画しています、遊水地計画を先行して進めることも考えております。短期、中期、長期というかたちで計画をしております。工事の地域ですが、下は駅東通り、北は環状線、駅前通りまでとしています。	【左記回答要旨のとおり】 ※ 巴波川の河床整正等の工事区間につきましては、北は荒川との合流地点から、南は、県道栃木小山線の平成橋までの区間であり、平成29年2月上旬までに完了したとの報告をいただいております。

平成28年度 まちづくり懇談会ふれあいトーク 質問要望等経過報告一覧(栃木地域)

栃木第6・7地区

No.	自治会名	質問要望要旨	回答要旨	経過・対応報告
15	参加者	<p>去年のふれあいトークでも出たのだが、永野川の二杉橋をわたって西側が車がすれ違うのが非常に困難。 一年になるのだがどうなっているのか？</p> <p>今のお答えに関して、市の方から早急にやります、ということで9月か10月頃ということだったが、担当者に伝わっていないのか。 この4月頃までという話だったのが、延びている。</p>	<p>ただいまの件につきまして、去年ご要望いただいたと思うのですが、渡ってすぐの北側の堤防のところだと思います。堤防を西側に広げております。現地の出来上がりを確認できていないので申し訳ないが実施しているはずですので、確認いたします。</p> <p>申し訳ございません。早急に現場を確認してやるようにいたします。</p>	<p>【道路河川整備課】進捗・対応状況:対応済 平成28年12月に対応いたしました。</p>
16	参加者	<p>介護の仕事をしていて、利用者さんの声で代弁させていただきたいことがある。退院してすぐの方で市役所に行った際に、郵便局のキャッシュカードしかなく、ゆうちょ銀行のATMがなく、大変苦労したという話を聞いた。違う利用者の方からもご意見をうかがった。制度的なこともあると思うが、郵便局のコーナーも設けていただけたら、と思う。給付金等の制度により、高齢者の方も市役所に行く機会が多い。</p>	<p>主要金融機関のATMはあるが、ゆうちょ銀行のATMはない。ゆうちょ銀行に確認させていただいて、費用負担やスペースの関係もあると思うので、どういった対応ができるかということを考えさせていただきたい。</p>	<p>【管財課】進捗・対応状況:未対応 ご要望があったことを受け、ゆうちょ銀行に連絡を取り、ATM設置についてお尋ねしたところ、“ゆうちょ銀行のATM設置基準は年々厳しくなっており、設置の目安は年間利用件数で13万件。1日あたりで350件。1日10時間稼働として1時間あたり35件。このようなペースで毎日利用が見込めないと設置していない”との回答がありました。 現状として本庁舎1階には、4行(栃木信金、下野農協、栃木銀行、足利銀行)のATMが設置されておりますが、一番利用が多いATMでも1日あたり200件ほどでありまして、ゆうちょ銀行の設置基準を満たすような利用は見込めないことから、ゆうちょ銀行ATMの設置は困難であります。 既存4行のATMは、手数料が掛かるものの、ゆうちょ銀行カードが使えるようです。また最寄りの蔵の街郵便局にもATMが設置されておりますので、それらをご利用いただきますようお願いいたします。</p>
17	参加者	<p>市長にお願いできればと思うのですが、渡良瀬遊水地について、小山市は面積が5パーセントくらいだが、小山市の方が強くPRしているように見受けられる。栃木の渡良瀬遊水地ということでPRをお願いしたい。</p>	<p>確かに小山市の市長さんは遊水地関係のものを持って歩き、何かにつけてPRしている。特出してPRしている。 栃木市は遊水地の70%以上を占めている。現在も色々なことをやっておりますが、今後、ハートランド館をつかって、色々と実施していく予定です。PRについても、今後より力を入れて取り組んでまいります。</p>	<p>【左記回答要旨のとおり】</p>